



西予市議会だより

かけはし



令和4年 第3回 定例会

かけはしになれる議会 親しまれる議会をめざして

特集

西予市防災士連絡協議会 × 議会



西予市防災士連絡協議会の皆さん 左から

清水重忠さん（宇和）、大石武久さん（城川）、濱田賢二会長（三瓶）
田村忠良さん（明浜）、滝上範子さん（宇和）、松井龍太郎さん（野村）
土居典子さん（城川）、藤川伸一さん（宇和）

定例会の報告
政務活動費報告
令和5年度予算への提言



西予市防災士連絡協議会のみなさんと

西予市防災士連絡協議会からは会長、以下役員8名に参加いただき、日頃の活動や、今後の活動、市へのご意見などについてお話しし、有意義な会になりました。

防災士に関するお問い合わせは
危機管理課(☎ 0894-62-6491)まで!



みんなも防災士
目指してみようY0!

行政や議会へ伝えたいことは

- 防災士連絡協議会は年会費2000円で運営しています。セミナーや事務費等にお金がかかり資金不足のため、防災士の資格のある方は是非入会してください。また、市には引き続き支援をお願いしたいです。
- 城川町魚成地区の野村側にも雨量観測所を設置していただき、避難の呼びかけをしやすくしていただきたいです。
- 女性の方にも防災士の資格を取っていただきたいです。また医師、看護師、介護士、教員、保育士、保健師などの資格を持っている方にも、防災士の資格を取っていただきたいです。

特集

防災士 × 議会

9月は防災月間ということで、西予市防災士連絡協議会の皆さんにお話を聞きました。
9月20日議員全員協議会室にて



訓練の重要性を説く濱田会長



家族みんなの防災ノート

防災士になられたきっかけは

- 公民館に勤めていたときに「館長は防災士を取った方が良い」ということで資格を取りました。
- 「防災士も女性が必要とされる時代」と言われたので資格を取りました。
- 地元で自主防災クラブの支部長をやっている時に、防災士が一人もいなかったため、資格を取るようになりました。
- 阪神・淡路大震災、芸予地震などのいろいろな経験から、定年後に西予市に帰ってきて地元で防災会を立ち上げた際に、行政から「防災士の資格を取らないか」と要請があったため資格を取りました。

あなたの活動内容は

- コロナ感染拡大前までは子どもの宿泊研修会に併せて避難訓練をしていました。
- 総会や常会などの会合が終わった後にミニ講習会をしています。
- 集会所に置いてある発電機の取扱講習会を2カ月に一度やっています。
- AEDの実演講習、消火訓練などを行っています。
- 防災に対する勉強会を毎月やっています。
- 一時避難場所のメンテナンス、維持管理をやっています。

今後の活動内容は

- コロナ感染拡大前まではセミナーや講習会、現場講習などを年に4〜6回程度実施していました。
- 自主防災の組織が中心になって防災訓練をやっていききたいです。
- どの支部も均等に自主防災活動ができるようにしていきたいです。
- 住民一人ひとりが防災意識を持ち、地域の協力を得ながら前回とは違う想定訓練をやってみたいです。
- 災害時の行政・自衛隊の対応などのセミナーをやっていききたいです。

令和 3 年度一般会計歳入決算	
地 方 交 付 税	129 億 7794 万円
国 庫 支 出 金	57 億 3256 万円
市 債	38 億 7759 万円
市 税	32 億 1869 万円
繰 入 金	20 億 7784 万円
県 支 出 金	19 億 7691 万円
繰 越 金	14 億 3790 万円
地 方 消 費 税 交 付 金	8 億 6273 万円
諸 収 入	6 億 7637 万円
地 方 譲 与 税	3 億 3239 万円
寄 附 金	3 億 2299 万円
使 用 料 及 び 手 数 料	2 億 9903 万円
財 産 収 入	1 億 9472 万円
分 担 金 及 び 負 担 金	1 億 3304 万円
地 方 特 例 交 付 金	4604 万円
法 人 事 業 税 交 付 金	3745 万円
株式等譲渡所得割交付金	2306 万円
環 境 性 能 割 交 付 金	1944 万円
配 当 割 交 付 金	1853 万円
交通安全対策特別交付金	435 万円
利 子 割 交 付 金	409 万円
歳 入 合 計	342 億 7366 万円

令和 3 年度一般会計歳出(目的別)決算	
民 生 費	82 億 1956 万円
総 務 費	44 億 2885 万円
公 債 費	42 億 9465 万円
衛 生 費	26 億 6809 万円
農 林 水 産 業 費	25 億 6536 万円
教 育 費	24 億 992 万円
土 木 費	21 億 3417 万円
諸 支 出 金	18 億 8004 万円
消 防 費	13 億 8281 万円
災 害 復 旧 費	11 億 3789 万円
商 工 費	11 億 2365 万円
議 会 費	1 億 6751 万円
労 働 費	1087 万円
予 備 費	0 円
歳 出 合 計	324 億 2337 万円



一 般 会 計 決 算

歳入総額 342 億 7366 万 2844 円

歳出総額 324 億 2337 万 2588 円

差 引 額 18 億 5029 万 256 円

特 別 会 計 決 算 (合計)

(歳入) 125 億 4195 万円

(歳出) 122 億 7310 万円

公 営 企 業 会 計 決 算 (合計)

(収入) (支出)

(収益的収支) 60 億 3656 万円 60 億 8899 万円

(資本的収支) 8 億 4808 万円 13 億 5469 万円

注) 金額は、四捨五入のため、一部端数調整を行う場合があります。

令和 4 年
第 3 回定例会



西予市のこんなことが決まりました。

会 期 9 月 1 日～10 月 3 日

会議期間 33 日間

第 3 回定例会の議案は

令和 4 年度補正予算 8 件

令和 3 年度決算認定 11 件

人権擁護委員の推薦 2 件

契約案件 1 件

条例制定 1 件

条例の一部改正 4 件

過疎地域持続的発展計画の変更 1 件

継続費精算報告 1 件

健全化判断比率等の報告 2 件

出資法人等の経営状況報告 8 件

今号では、その中から 1 つを Pick up

全ての議案と結果は、P7をご覧ください。

議案ピックアップ



〈認定第 1 号 令和 3 年度一般会計歳入歳出決算の認定について〉

Pick up
1

令和 3 年度一般会計歳入歳出決算
を認定しました

一般会計の財政指標は、公債費負担比率が 18・6％に上昇し、経常収支比率はやや改善したものの 92・5％と財政硬直化が見られ、財政力指数においても 0・24 と低く、依然として厳しい財政状況が続いている。

財政調整基金が年々減少している。財政面で厳しい状況があり、将来を見据えた持続可能な財政基盤の確立と健全財政に引き続き取り組む必要がある。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大が長期化し、市民生活や地域経済への更なる影響が憂慮される。引き続き、市民生活への配慮と資金力に乏しい個人事業者や中小企業等へ切れ目のない支援と柔軟な対応が望まれる。

10 月 3 日に、市長に対して、決算審査において出された意見をもとに、令和 5 年度予算編成に向けての政策提言を行った。

令和4年 第3回臨時会議決結果

(令和4年7月26日)

議案番号	件名	議決年月日	議決結果
議案第86号	明浜柑橋加工施設新築工事請負契約について	7月26日	原案可決
議案第87号	明浜柑橋加工施設新築機械設備工事請負契約について	7月26日	原案可決

令和4年 第3回西予市議会定例会議決結果表

(令和4年9月1日～10月3日)

議案番号	件名	議決年月日	議決結果
議案第89号	C A T V整備事業 城川サブセンター整備工事請負契約について	9月20日	原案可決
議案第90号	西予市卯之町駅舎の設置及び管理に関する条例制定について	9月20日	原案可決
議案第91号	西予市支所及び出張所設置条例の一部を改正する条例制定について	9月20日	原案可決
議案第92号	西予市議会の議員及び長の選挙における公費負担に関する条例の一部を改正する条例制定について	9月20日	原案可決
議案第93号	西予市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例制定について	9月20日	原案可決
議案第94号	令和4年度西予市一般会計補正予算(第4号)	9月20日	原案可決
議案第95号	令和4年度西予市育英会奨学資金貸付特別会計補正予算(第1号)	9月20日	原案可決
議案第96号	令和4年度西予市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	9月20日	原案可決
議案第97号	令和4年度西予市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	9月20日	原案可決
議案第98号	令和4年度西予市介護保険特別会計補正予算(第1号)	9月20日	原案可決
議案第99号	令和4年度西予市農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)	9月20日	原案可決
議案第100号	西予市過疎地域持続的発展計画の変更について	9月20日	原案可決
議案第101号	令和4年度西予市一般会計補正予算(第5号)	9月20日	原案可決
議案第102号	西予市職員の給与に関する条例及び西予市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例制定について	10月3日	原案可決
議案第103号	令和4年度西予市一般会計補正予算(第6号)	10月3日	原案可決
諮問第9号	人権擁護委員候補者の推薦について	9月1日	原案同意

表決結果

賛否の分かれた議案です。
その他の議案については全会一致です。

番 号	件 名	1 和 数	2 宇 宮 久 見 子	3 信 宮 徹 也	4 宇 都 宮 俊 文	5 加 藤 美 香	6 中 村 一 雅	7 河 野 清 一	8 佐 藤 恒 夫	9 山 本 英 明	10 竹 崎 幸 仁	11 小 玉 忠 重	12 源 正 樹	13 井 関 陽 一	14 中 村 敬 治	15 二 宮 一 朗	16 兵 頭 学	17 森 川 一 義	18 酒 井 宇 之 吉	議 決 結 果
諮問第10号	人権擁護委員候補者の推薦について	○	○	○	○	除	○	○	○	○	○	議 長	○	○	○	○	○	○	×	原案同意

(○：賛成 ×：反対 欠：欠席 除：除斥 棄：棄権)

※議長は表決権がありません(可否同数の場合のみ表決権があります)

こんな質疑が出ました

Q 卯之町駅舎完成後の運営主体・方法は

A 駅舎の運営に関する業務の主体は西予市が担う。管理業務については、卯之町はちのじまちづくり整備事業に係る特定事業契約に基づいて、株式会社西予まちづくりサービスが、24時間利用が可能な駅舎として、建物の保守管理、整備、清掃などの維持管理業務を行う。

Q 卯之町駅舎完成後、お披露目イベント等の計画は

A 駅舎の開所を11月初旬に予定しており、オープニングセレモニーを計画している。西予市産材で作ったうさぎ絵馬の販売や絵馬のモニメントの設置、木の風船の設置、愛の火鉢を活用したイベントなど、季節ごとの駅舎の利活用について、地元関係団体とともに実施に向けて検討を進めて行く。

Q 新規就農者が補助金を適用される期間が決まっているのか。また、新規就農者の定義は

A 新規就農者が新規就農総合支援事業補助金の交付を受けられる期間は、就農初年度に限られる。

新規就農者の定義は、①独立・自営就農時の年齢が49歳以下②令和4年度中に要件をすべて満たして独立・自営就農する③青年等就農計画の認定を受けた認定新規就農者④農業経営を継承する時は5年以内に継承⑤人・農地プランに位置づけられているか位置づけられることが確実、又は農地中間管理機構から農地を借りている⑥雇用就農資金及び経営継承・発展等支援事業の交付を受けていない⑦機械・施設等の取得費用に交付対象者本人が金融機関から融資を受けていることの7点の要件があり、この要件を満たした者が新規就農者である。

請願
第1号

山田薬師の屋根保全修理へ補助
金予算措置を求める請願

全会一致

採 択

※内容等は、P8の総務常任委員会審査報告をご覧ください。

総務常任委員会



委員会では、本会議で付託された議案をより詳しく担当部署から説明を受け、調査・審査します。

10件の議案・1件の請願を審査

Q 西予市男性職員の育児休暇取得状況は

A 育児休業・産後パ育休について、令和3年度と令和4年度現在では取得職員はいないが、今年の10月から男性正職員1名が育児休業を取得する予定である。

Q 卯之町はちのじまちづくり整備事業の全体事業費における駅舎の建設費・費用負担は

A 卯之町はちのじまちづくり整備事業に係る特定事業契約で、施設整備業務、維持管理業務、運営業務を全て含み約19億6893万円で契約している。

駅舎建設については、整備等委託料として約5000万円で事業を進めており、全ての施設整備が終了後

精算し、増加した事業費について、契約先の株式会社西予まちづくりサービスへ支出することになる。

Q 卯之町駅の1日の利用客数と今後株式会社西予まちづくりサービスが行う卯之町駅の保守管理の内容は

A 令和2年度で1日平均244人の利用客数があり、これまでの駅舎と同様に24時間利用が可能な駅舎として日常的な点検・警備・清掃などの管理業務を行う。

Q 請願第1号「山田薬師の屋根保全修理の補助金予算措置を求める請願」

「採択」

西予市指定文化財にも登録してある貴重な文化財を守らなければならぬとの意見があり、補助金の予算措置については、西予市文化財維持管理補助金交付要綱に基づいた支援を行うことで採決を行い採択と決した。

5件の議案を審査

厚生常任委員会



Q 公立保育所の保育業務支援システム導入後の効果は

A 保育現場の業務負担軽減に資する機能として、指導計画、日誌作成などの記録アプリがある。

保護者とのコミュニケーション機能として、連絡帳、保護者連絡アプリにより、お便りやお知らせを一斉に配信する機能があり、有効に活用されている。

Q オミクロン株対応ワクチンの接種体制について

A 10月以降オミクロン株対応ワクチンを接種するよう準備を進めており、初回接種を完了した12歳以上全ての市民が接種可能である。接種の対象者が3回目、4回目を接種していない方、12月以降には5回目を接種する方など複雑になるため、市民の皆様ができる限りわかりやすいよ

うな通知をしていく。
今後小児ワクチンについても3回目接種が予定され、国の説明では、生後6カ月経過した乳幼児から接種可能となることであり、しっかりと準備を行いスムーズに接種できるように努める。

Q 児童公園整備事業の内容は

A 子育て環境の充実を図るため、子どもたちの遊び場と交流の場として、市産材を用いた木製大型遊具を宇和町稲生のどんぶり館横の、みずすまし公園内に令和4・5年度2力年の総額1億4850万円の継続費を計上する。

令和3年度末から調査研究をしており、人口減少、少子対策は急務であり、保護者アンケートの結果も反映している。西予市和インター近くで、どんぶり館横に位置し、遊び、買い物、食事等ができる立地で100台の駐車場を設置予定であり年間15万人の集客を見込んでいる。

所管事務調査

新野村支所庁舎を視察

令和4年10月24日開所予定である新庁舎は、J Aひがしつわ野村支店、愛媛信用金庫野村支店、西予警察署野村交番が入る複合型の改築庁舎である。

利便性が向上し、住民サービスが充実することを期待している。



新しくなった野村支所庁舎

所管事務調査

「医療の確立と二次救急の現状とあり方」

医療対策室の職務内容、地区別の開業医数、市立病院の医師不足の現状と課題について説明を受け意見交換を行った。

両市立病院、つくし苑の医師・看護師、介護師等の医療従事者不足や高齢化、新型コロナウイルス感染症対策や施設の健全な運営等課題があるとの説明であった。

市立病院の果たすべき役割を認識し、地域医療の提供体制を維持しつつ安定した病院運営が必要である。



医療介護部との意見交換

産業建設常任委員会



3件の議案を審査

Q 新規就農総合支援事業補助金の内容や内訳は

A 新規就農者が農業に定着するため機械や施設、牛や豚などを導入する費用に充当することができ、事業で、限度額が1000万円、今年度に初めて創設された。

今回は、養豚経営に対し284万1000円、ミニトマト農家に対して456万円を計上した。また、既存の経営開始資金と併用して利用することができ、その場合の限度額は500万円となる。

Q ※E-BIKEの運営方法は

A ジオミュージアムに5台、みかめ本館に2台、あけはまーれと狩江公民館で5台、クアテルメ宝泉坊と游の里で5台、乙亥会館に3台、文

化の里休憩所に7台の計27台を設置する予定。
西予市の交通手段を考えると乗り捨てが難しいため、起点から起点に戻ることを基本に考えている。

※E-BIKE
スポーツ用電動アシスト付き自転車のこと

Q みずすまし公園に新設される遊具に森林環境譲与税を充当するに至った経緯は

A 森林環境譲与税は細かく規定される国庫補助金と異なり、地方公共団体に一定の裁量を与えられており、事業を幅広く弾力的に実施できるものとされている。

今回の児童公園整備事業については、木製大型遊具を設置することとしており、木材利用の促進、木育活動の普及啓発として、その目的に合致していると考えた。

所管事務調査

バイオマス発電について

担当課と意見交換

畜産バイオマス発電と木質バイオマス発電について、それぞれの材料（家畜の排せつ物、未利用木材）や収益性について意見交換し、内子町のバイオマス発電所を視察した。
家畜排せつ物や未利用木材などの農業資源を活用し、エネルギー調達といった環境負荷軽減に取り組むことが重要と考えることから、バイオマス地産地消について、県でも話を聞くこととした。



間伐材を燃料とする発電所

【訂正とお詫び】西予市議会だより第73号11ページ産業建設常任委員会の下段「所管事務調査」の記事に誤りがありました。（誤）宇和町永長 → （正）宇和町清沢 訂正してお詫びいたします。

一般質問



みなさんの生活にかかわる内容について質問を行います。

一般質問



二宮 一朗

Q 高校生までの医療費無償化に取り組む考えは

A 令和4年4月時点で、県内1市4町が原則18歳年度末までの医療費助成を実施している。令和3年度に実施したまちづくり市民アンケートをはじめ、子育て世代の保護者との対話などで、高校卒業までの医療費無償化の要望も多く寄せられている。

子育て支援充実の一環として、令和5年4月から原則18歳以下を対象とした医療費の無償化に向けて準備を進める。

Q 観光物産協会が取り組むE-BIKE事業の内容は

A 27台程度のバイクを導入して四国西予ジオミュージアムを起点とし、ジオを核とした市内周遊促進を行う。体感できる自然や魅力の幅を大きく広げ、西予市のPR効果と経済波及効果を高めることを目標としている。導入後は、モニターツアーやジオ関連イベントで、多くの方に周知やPRをしていく。

一般質問



酒井 宇之吉

Q 愛媛県のBA・5医療危機宣言について西予市の対応は

A 西予市では、8月23日には過去最多となる81人の陽性者が確認され、医療機関では多数の救急や発熱に関する電話対応に追われる日々が続いた。

県の要請に基づき、多くの人で混み合う場所への出入りを控えるなどの感染回避行動の徹底を強く呼びかけた。

また、宣言の緊急性を鑑み、職員によるチラシのポスティングや各種団体の常会などを通じ、全戸配布を行った。今後も引き続き感染対策について啓発していく。

一般質問

Q 上水道・簡易水道・その他の供給施設の給水人口は

A 令和4年3月末現在の人口3万5564人中、上水道の給水人口は2万8844人いる。
計画給水人口が101人以上5000人以下の簡易水道は4622人、計画給水人口が50人以上100人以下の県条例水道及び飲料水供給施設は782人、計画給水人口が50人未満の簡易給水施設及び共同給水施設は703人、専用水道は79人となっている。

水道施設がなく、山水や井戸を使用している未給水人口は534人となっている。



ジオミュージアム（城川町）

E-BIKE



山水をろ過・貯水しているタンク（城川町）

一般質問



和気 数男

Q 野村運動公園の利用再開の見込みは

A 解体工事終了後、グラウンド面の排水機能が著しく低下していることが懸念されるため、グラウンドの暗渠排水工事を行う計画で完成は令和5年3月中旬の予定である。

具体的な運動公園としての利用開始は工事完了後、可能な限り速やかに市民の皆様が利用できるように考えている。

AQ

ケア労働者の処遇改善は保育士等や福祉・介護職員、または看護職員等のケア労働者の処遇改善については、本年の第1回定例会で関係条例の改正を行ったところであり、10月以降も引き続き対応する。

厚生労働省は10月から処遇改善に係る診療報酬、または介護報酬の仕組みを改め、看護職員の処遇改善についても、収入を3%程度引き上げるための仕組みを創設するよう検討されており、現在情報収集中で、本市での運用についても検討を進めており、準備が整えば速やかに対応する。



福祉・介護職員等が働くつくし苑

一般質問



宇都宮 久見子

Q ハンプ設置後の効果と今後の増設計画は

A 事業実施前の仮ハンプで速度調査を行い、車速を概ね7キロ減速させた調査結果をもとに、事業を実施した。現在、鬼窪・下松葉地区からハンプ増設の要望があるため検討している。

Q 野田口交差点から商店街及び宇和町小学校正門下交差点の整備は

A 現在、野田口交差点から商店街にかけて国の改良工事が行われており、その安全性が高まることが期待され、その後の状況を注視したい。

小学校正門下交差点は住宅が立ち並ぶ市街地であり、周辺の道路状況や、改良後の車両・歩行者の



宇和町小学校正門下危険交差点

流れ等検討すべき課題が多くあるため、今後の宇和町地域小学校再編計画や、スクールバスの運用など具体的方針が決定した後に、慎重に検討すべきと考える。

Q 保育所等の各町別待機児童数と対応は

A 宇和17名、野村3名、三瓶1名の合計21名である。待機児童への継続した入所支援として、待機児童情報をリスト化し、市内認可保育園等に提供することで入所調整を行っている。また、待機児童解消に向け保育士人材確保にも取り組んでいる。

●視察報告



総務常任委員会

7月27日～29日、総務省での研修、山梨県都留市、北杜市を視察した。総務省では「地方行政のデジタル化」について説明を受けた。都留市では「生涯活躍のまち・つる構想について」「移住定住に向けた取り組みについて」説明を受け、都留市移住定住相談センターの現地視察を行った。北杜市では「移住定住に向けた取り組みについて」説明を受けた。

西予市では、地方行政のデジタル化については、住民サービスの向上と自治体の効率化を強化していくことが必要であると感じた。また移住定住に向けた取り組みについては、移住定住交流センター等に寄せる相談案件を分析し、空き家や田舎暮らしなどニーズにあった事業・情報発信を行う必要があると感じた。



お試し移住施設（都留市）

厚生常任委員会

7月12日～14日、厚生労働省、地域医療振興協会、大和市を行政視察した。厚生労働省と地域医療振興協会では、医師・看護師の考え方に都市部と地方とのギャップがあり、へき地等での勤務を希望する医師は非常に少ないと聞き、医師確保の難しさを改めて感じた。医師の確保に関しては、西予市独自の工夫がより必要だと感じた。また、二次救急体制に関しては、地域医療を確保するため、様々な機会を通して住民の理解が欠かせない。

大和ゆとりの森公園は、計画の段階から施設の内容や遊具等に関して住民の意見を取り入れ、開設後もアンケート等で改善点を洗い出し、運営に反映させている。人気遊具の設置や健康遊具を設置するなど誘客への対策が、継続的な人氣に直結している。西予市にもこのような公園が必要だと考える。



ふわふわドーム（大和ゆとりの森公園）

産業建設常任委員会

7月13日～15日、農林水産省にて「みどりの食料システム戦略」のバイオマス地産地消について座学を行った。静岡県富士市にて畜産バイオマス発電について現地視察を行い、伊豆市では伊豆半島ジオパークを視察した。

バイオマス地産地消対策について、事業化（調査・設計）にも2分の1の補助があると分かり、バイオマス地産地消については、庁内に木質バイオマス・畜産バイオマスの研究チームを立ち上げ、事業化に向けた調査研究を進める必要性を感じた。

伊豆半島ジオミュージアム「ジオリアー」では、川の流れを特殊な砂と水流（※Emriver）によって長年の変化を分かりやすく説明いただき、当市でも導入に値すると考えるので、設置に向けた検討をお願いしたい。



Emriver での説明

※ Emriver（イーエムリバー）とは、川の流れによる地形の変化を探る模型実験

令和３年度 政務活動費収支報告

市では、地方自治法に基づき、議員の調査研究に必要な経費の一部として、議員 1 人あたり月額 1 万円を前払いで交付しています。（会派の場合、所属議員数に応じて交付）
年度末までに支出残高がある場合は返還します。



●主な支出項目の説明

調 査 研 究 費	議員（会派）が行う市の事務、地方行財政等に関する調査研究及び調査委託に関する経費
研 修 費	議員（会派）が研修会を開催するために必要な経費、団体等が開催する研修会の参加に要する経費
資 料 作 成 費	議員（会派）が行う活動に必要な資料の作成に要する経費
資 料 購 入 費	議員（会派）が行う活動のために必要な図書、資料等の購入に要する経費

※この他にも、広報費、広聴費、要請・陳情活動費、会議費、人件費、事務所費があります。

●収支一覧表

（単位：円）

NO	議 員 名	交付額	支出額	支 出 額 の 内 訳				返還額
				調査研究費	研修費	資料作成費	資料購入費	
1	和 気 数 男	120,000	0					120,000
2	宇都宮 久見子	120,000	0					120,000
3	信 宮 徹 也	120,000	46,525	46,525				73,475
4	宇都宮 俊 文	120,000	46,525	46,525				73,475
5	加 藤 美 香	120,000	0					120,000
6	中 村 一 雅	120,000	46,525	46,525				73,475
7	河 野 清 一	120,000	46,525	46,525				73,475
8	佐 藤 恒 夫	120,000	7,000		7,000			113,000
9	山 本 英 明	120,000	0					120,000
10	竹 崎 幸 仁	120,000	0					120,000
11	小 玉 忠 重	120,000	50,925	46,525			4,400	69,075
12	源 正 樹	120,000	17,820				17,820	102,180
13	井 関 陽 一	120,000	0					120,000
14	中 村 敬 治	120,000	0					120,000
15	二 宮 一 朗	120,000	46,525	46,525				73,475
16	兵 頭 学	120,000	46,525	46,525				73,475
17	森 川 一 義	120,000	0					120,000
18	酒 井 宇之吉	120,000	48,825	46,525		2,300		71,175
	計	2,160,000	403,720	372,200	7,000	2,300	22,220	1,756,280

令和 5 年度予算編成に向けて市長へ提言書を提出しました

令和4年第3回定例会、9月1日に決算審査特別委員会（議長と議会選出監査委員を除く 16 名）が設置されました。各常任委員会の3つの分科会において、9月 14 日、16 日、21 日の3日間で各所管事業に対し、慎重に審査を行い、9月 28 日に決算審査特別委員会を開催しました。

決算審査特別委員会における審査意見をまとめ、10月3日市長に提言を行いました。抜粋して報告します。

●総務分科会

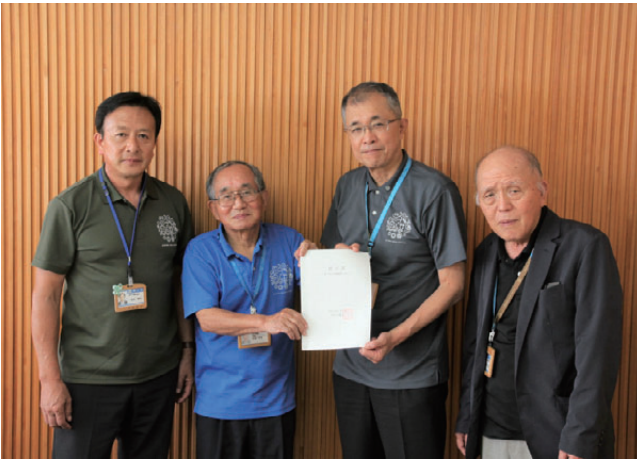
- ・防災行政無線・情報システム整備事業
コスモキャストについて、利便性を向上させ、利用者数を増加させるよう継続して啓発して取り組むこと。
- ・移住交流促進事業
令和3年度は、過去3年平均の3倍弱の移住者があった。今後、移住者の移住元や年齢等、基礎調査の実施を踏まえ、なぜ大幅に移住者が増えたのか要因分析した上で、更なる移住者の増加に向けて効果的な移住・定住政策を進めること。

●厚生分科会

- ・不法投棄対策事業
不法投棄に関する情報が入った場合は、現場を見に行くなど状況を確認し、しっかりとした対応を行うこと。また不法投棄防止に関し啓発を行うこと。
- ・子供医療費助成事業
小学生、中学生の通院および入院に係る医療費の助成については、市の単独事業であり、愛媛県内のすべての市町で助成を実施していることから、国の責任において実施される事業として働きかけを行うとともに、適正受診の理解と協力を求めること。

●産業建設分科会

- ・ジオブランド推進事業
ジオの至宝について、認定数が 11 品と伸びておらず、認知度向上に向けた周知拡大に努めること。また認定商品のパッケージへの至宝のロゴ記載や道の駅など絵の専門ブース設置など更なるブランド化に向けた取り組みを検討すること。
- ・住宅リフォーム事業
市民から需要のある事業であり、経済効果も大きい
ため、予算枠の拡大に向けた調査研究を行うこと。
また補助要件の一つに市産材を利用するとあるため、
森林環境贈与税が活用できないか調査・研究を行う
こと。



きかせて！あなたの夢



西予市の小学生が将来の夢を語るコーナーです。



わたなべ あつろう
渡邊 敦郎さん（野村小学校6年）

僕は、困っている人がいたら、優しく手をさしのべられる大人になりたいです。

僕はこれまで、知らない人に声をかけることに戸惑うことがよくありました。しかし、ある時、勇気を出して、困っている人に声をかけて、手助けをしました。その時、相手の人から笑顔で「ありがとう。」と言われ、僕の方がうれしくなりました。また、その人の笑顔を見ると、声をかけて本当によかったなと心から思うことができました。

僕は今、積極的に考えて行動するように心がけています。児童会でも副会長として、集会の司会やあいさつ当番など、みんなが楽しく生活できるよう、活動しています。これからは今まで以上に、自分にできることを考えて、将来周りの人を助けられる大人になりたいと思います。

議会レポート 「えひめ南予きずな博 開明学校創建 140 周年記念！卯之町歴史探訪の旅」



去る8月30日、今年の春に車両を全面リニューアルした2代目「伊予灘ものがたり」が、えひめ南予きずな博の開催に伴い、卯之町駅へやってきました。初めて定期運行区間外を運行するというので、座席はほぼ満席でした。また、乗客の皆さんは車窓からの風景や乗り心地、卯之町の町並み散策などを楽しまれていました。

当議会としても、待望の伊予灘ものがたりがくるということで、手作りのうちわでおもてなしをしました。

今回は特別運行でしたが、今後、定期運行になれば多くの方に西予市を訪れていただくきっかけになるのではないかと感じました。今回の運行に関してJR四国をはじめ、ご協力いただいた関係各位に心より感謝申し上げます。



編集後記

暑さ寒さも彼岸までと言いますが、胃袋だけは一足先に秋を迎えられていた方も多かったのではないのでしょうか。

今号は防災士さんからお話を伺いました。前号のジオガイドさんもそうでしたが、皆さん強い信念と豊富な専門知識・経験のもと、懸命に取り組みられています。皆さまのご活躍を心より期待しております。

和気 数男

◎編集委員

委員長
副委員長

中村 一雅
源 正樹
和気 数男
宇都宮 久見子
加藤 美香
山本 英明
井関 陽一

